



プロのいちご農家を目指す



私の家は「とちおとめ」を中心に栽培しているいちご農家です。私は小さい頃から出荷箱折りなどの簡単な仕事を手伝っていましたが、大きくなるにつれ、ハウスのビニール張り替えや苗の定植など体力が必要な仕事を手伝ってきました。それと同時に、だんだんといちご作りに魅力を感じるようになってきました。高

校卒業後は就職しましたが、長年いちご栽培をしていた祖父の体が弱くなったことで、自分もいちご農家になろうと就農を決意いたしました。今まで作業の手伝いはしてきましたが、いちご栽培に関しては素人同然だったため、いちごの専業農家として栽培に取り

組むには基礎を習得しなければと思い、令和3年4月栃木県農業大の「とちぎ農業未来塾」で学ぶことにしました。今まで父から苗の病気や害虫の名前は聞いたこ

とがありましたが、発症要因や原因など詳しいことはわかりませんでした。「未来塾」では、病害虫の予防や防除法について詳しく教えてもらい、また本圃の土づくり、施肥設計の計算方法を教わるなど、基本技術の大切さを知りました。

「未来塾」の研修と我が家の栽培とで感じた事は、いちご作りは一つひとつの作業がとても重要であり、大切な作業の連続であるということ。そのため、これから我が家の経営では作業の効率化を図るため、従来の経験に頼った管理に加え、IoTやAIを活用した「スマート農業」などの新たな技術導入が必要だと感じました。灌水量や地温、肥料の濃度などを見える化するため、ハウス内環境を数値としてデータ化

し栽培に適した環境をつくるなど、導入可能な技術を活用し、効率的で安定した収量を目指していきたいと思えます。

今後は「とちぎ農業未来塾」で学んだ事を活かし、先端技術を導入し、研究を重ねて栽培技術を上させ、高品質で美味しいいちごを作るプロのいちご農家を目指して頑張っていきたいです。

(とちぎ農業未来塾)

就農準備専門コース
いちご専攻 猪瀬 翔大

